

# 学び合う子 明るい子 チャレンジする子

保護者地域の願い

- ・学力、体力の向上
- ・心地よいあいさつ
- ・思いやりの心の育成
- ・自己肯定感の育成
- ・ふるさとへの愛着

児童の実態

- ・温厚で素直
- ・男女の仲が良い
- ・友だち関係づくりに弱さ
- ・自分の考えを、相手に伝える表現力に課題

地域とかかわり、夢（目標）に向かって、ねばり強く努力する子どもの育成  
 ～キャリア教育を柱に、充実感とつながりを重視した教育活動の展開～

## 重点目標

☆ともに学び合い、  
 確かな学力を身に付ける。(知)

☆やさしく言葉をかけ合い、  
 相手を思いやる。(徳)

☆めあてをもって、ねばり強く体力づくりに  
 励み、望ましい生活習慣を身に付ける。(体)

### 育てたい5つの力

#### 郷土愛

- ◎地域の好きなどころが分かる。
- ◎地域の自然や人と進んでかかわる。

#### かかわる力

- ◎あいさつや返事をきちんとする。
- ◎自分の考えを相手に伝える。
- ◎友達と協力して活動する。

#### みつめる力

- ◎自分のよいところや得意分野が分かる。
- ◎自分のやりたいことを見つける。

#### やり抜く力

- ◎当番や係の仕事をしっかり行う。
- ◎今やらなければいけないことを考える。
- ◎最後までやり通す。

#### 夢おこす力

- ◎仕事の大切さが分かる。
- ◎仕事と今の学習をつなげて考える。
- ◎将来やりたいことがある。

## 方策

- 地域教材や人材、郷土資料を積極的に取り入れた授業展開を図る。
- ペア・グループ学習や全体交流の場で、互いの考えや思いを聴き合う活動を計画的に取り入れる。
- 多様な考えや価値観に触れさせ、見方・考え方を使って自分の考えを深める場面を授業に位置付ける。
- 単元末テストを活用し、重点的に指導するポイントを分析することで、学習内容の定着を図る。
- めあてや見通しをもたせ、主体的に学習できるように支援する。

### 達成目標

- ペア・グループ学習や全体交流の場で、互いの考えや思いを聴き合うことができたとする児童の割合が向上する。  
A80%以上、B70～80%、C70%未満
- 単元末テストの平均値が、設定の期待値を上回る。  
A80%以上、B70～80%、C70%未満

## 方策

- 地域とかかわる学習・活動を通して、あいさつやお礼の手紙等で郷土を愛する心情を育む機会を作る。
- 将来にわたって進んで気持ちよいあいさつと返事ができるように、各学期はじめに「あいさつ強調週間」を設定する。
- 学級力アンケートを活用し、児童相互に関わり合わせながら児童と共によりよい学級づくりをしていく。
- ペア学年による行事、たてわり班による清掃、交流遊びを継続・充実させる。

### 達成目標

- 「学期の生活目標」を達成できたとする児童の割合が向上する。  
A90%以上、B80～90%、C80%未満
- 進んであいさつができたとする児童の割合が向上する。  
A90%以上、B80～90%、C80%未満

## 方策

- 保護者・地域住民が運動会に参加できる種目を実施し、地域との絆を深める場を設定する。
- 体力向上に関する取組について、めあてをもたせ、体力を養う運動を継続的に実施する。
- 心や体の健康が大切であることが分かる授業を定期的に実施する。

### 達成目標

- 体力の向上を実感している児童の割合が向上する。  
A90%以上、B70～90%、C70%未満
- 生活リズム（メディアに触れる時間、睡眠時間）を整えることができたとする児童の割合が向上する。  
A90%以上 B70～90%、C70%未満

業務改善の推進

< 1 子どもとかかわり合う時間の確保 >

- \* 事務のシステム化・ミニマム化の促進  
(中学校区・校内での統一、共有、定着)

< 2 学校経営への参画意識を高める >

- \* 学校組織マネジメントの活用  
(組織化、責任と権限の再確認と明確化、校務分掌の改善)